

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	宮崎県福祉総合センター及び県立母子福祉センター
指定管理者	(株)文化コーポレーション
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 福祉保健課

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
会場利用状況(人)	25,838	33,736	80,120	新型コロナウイルスの影響によって、会場利用、遊園利用ともに減少している。
会場利用状況(回)	2,900	2,874	3,699	
交通遊園利用状況(人)	7,822	8,660	11,580	
交通指導状況(団体)	19	20	23	
交通指導状況(人)	811	945	1,262	
コメント	会議室でのアクリル板、自動消毒器を設置し十分な感染対策を図り、安心安全な会場利用を実施している。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	54,650	53,666	53,356	人件費	9,408	10,059	10,027
雑収入	30	46	71	光熱水費	10,690	10,776	12,336
				委託費	20,209	20,135	19,626
				雑費	5,518	6,285	5,433
				本社管理費	7,860	6,457	6,005
合計(①)	54,680	53,712	53,427	合計(②)	53,685	53,712	53,427
収支差額(①-②)	995	0	0				
コメント	経費節減に努める一方で、入居団体のニーズに沿った施設運営の実施及び施設の老朽化による修繕が適正に行われている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和3年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、ガラス清掃(年3回)、床ワックス・カーペット清掃(年1回)、建物外周辺等清掃(週3回)
	保守・点検	冷暖房設備、エレベーター、自家発電設備、電気通信設備、汚水ポンプ、自動扉、消防設備
	警備	夜間常駐警備、機械常駐警備
	修繕	人材研修館誘導灯非常灯取替、本館4階打合せ室ドア設置、電話機械室基板増設等
	備品等管理	備品台帳点検、備品管理
	安全対策	事故・緊急事態対応マニュアルによる教育、施設内日常巡回、施設遊具安全点検、自衛消防訓練
	その他	草刈、花壇整備
企画運営業務	サービス提供体制整備	各会議室の先行予約実施、児童交通遊園を利用した交通安全指導の実施。
	イベント等ソフト面充実	自主企画事業(ヨガ・アロマ・骨盤教室・フリーマーケット)等の実施、児童交通遊園での交通安全教室の実施
	施設設備等ハード面充実	感染症要望対策工事の実施(全面洋式トイレ化と自動手洗い液等の非接触化)本館4階空調設備全面更新、人材研修館誘導灯・非常灯取替、児童交通遊園信号機配線取替
	その他	入居団体事務局長会議の実施
管理運営体制	屋礼による業務連絡等情報の共有化	
コメント	協定書に基づき、適正な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	和式トイレを洋式トイレに替えてほしい。	令和3年度に感染予防対策工事で実施済。
	コロナ渦の中、WEB会議に必要なWi-Fiを設置してほしい。	令和3年度、会議室にWi-Fiを設置済。

5 総合評価

評価コメント	庁舎の清掃・保守点検等の維持管理業務や会議室の予約運営・自主事業の企画運営業務は確実に実施されており、利用者満足度調査における結果も良好であり、必要な管理運営体制のもと、協定書に基づき、概ね適正に管理運営が行われている。
今後の課題と対応	福祉目的の施設であることから、徹底した安全管理対策を行うとともに、自主企画事業の充実を図る。また、コロナ渦の状況にあるが利用促進に向けてのPRを行い、利用者の増加を図る必要がある。